

第1回定例会 一般質問

10名の議員が市政を問う



青木 和夫 議員

華のある都市（まち）古河について

問 目指すものは何かについて問う。

答（市長）第2期基本計画に基づき、発展的かつ持続可能な施策を実施していきたい。

答（企画政策部長）第2次古河市総合計画基本構想において、都市の基盤をなす産業が栄え、基盤の上に文化が花開く名実兼ね備えた都市や、女性が活躍で

きるまちを目指していきたい。

防災対策について

問 災害時の安心・安全確保の上で、万全な取り組みをしているが、監視体制強化のために監視カメラ設置の考えはあるか。さらに、大雨による道路冠水の対策と今後の取り組みについて問う。

答（都市建設部長）監視カメラの設置は、費用対効果の十分な検討が必要である。また、新たに設置される雨水対策室において、計画予定の雨水対策基本計画と調整を図り、道路改修を実施していきたい。



古河駅東部土地区画整理事業について

問 完成年度までの年次計画、および文化交流施設の構想について問う。

答（市長）文化交流施設については、地域住民の皆さまと議論し、必要性を確認しながら、まちづくりを推進していきたい。

答（都市建設部長）各街区の不良土分別、造成工事を進め、使用収益エリアの拡大を推進していきたい。



阿久津 佳子 議員

賑わい創生について

問 古河駅前・周辺の再開発について、①過去の再開発事業、今後の事業計画について。②賑わい創生には市民が夢を持ち、夢が叶う、人々が生き生き集うまちづくりが必要と考えるが、今後の中長期的ビジョンについて問う。

答（市長）②駅前広場を生み出すには個人権利者の問題もある。

財政状況等を考慮し、必要な事業を見定めていきたい。

答（企画政策部長）①昭和59年に東口広場の整備、西口地区市街地再開発、魅力ある都市拠点形成や街路整備等を行った。現在、再開発事業計画はないが古河マルシェ等は継続していく。



小田原駅東口お城通り地区再開発事業

安心安全なまちづくりについて

問 危機管理体制のうち、①市長不在時の職務代理や行動指針、②新型コロナウイルス感染予防

対策や緊急情報の市民（特に高齢者）への情報発信体制（広報・SNS・紙ベース等）について問う。

答（市長）②SNS等で小中学校休校やイベント開催情報などの発信、高齢者等へは紙媒体で行政自治会回覧形式で配布した。

答（総務部長兼危機管理監）①職務代理を定める規則では副市長が代理の順位となる。市長不在時には通常業務と同様、地域防災計画などの各計画の中で副市長2名の代理順位を定め、さまざまな対応を備えている。

《その他の質問》

・ノーマライゼーションについて